

平成27年度 第1回小松市入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成27年7月31日(金) 小松市庁舎 低層棟4階 第3委員会室		
委員 (委員数4名) (出席者4名)	委員長 潮津 勇 委員 石田京子 委員 高見健次郎 委員 宮島昌克		
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 審議事案 審議対象案件の審議 (2) その他 3 閉会		
審議対象期間	平成26年10月1日～平成27年3月31日		
抽出案件	6件		
工事	条件付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・新ごみ処理施設建設に伴う造成工事 ・小松飛行場周辺無線放送(デジタル簡易無線)設置工事(その2)
	指名競争入札	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・中央排水区浸水対策 側溝改築工事(その2) ・憩いの森イメージアップ費 休憩施設整備工事 ・市道栗津駅前大通り線道路修景工事に伴う給水管布設替工事 ・市道津波倉一針線舗装補修工事(3・4工区)に伴う給水管布設替工事
	随意契約	—	
委託	条件付き一般競争入札	—	
	指名競争入札	—	
	随意契約	—	
委員からの意見・質問 それに対する回答	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による報告 又は意見の具申	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価の評価点は、プロセスを透明化し、努力を促すことを工夫されたい。 ・複数年の大型工事の競争のあり方について検討されたい。 ・適切な発注時期に十分配慮されたい。 		

委員からの意見・質問，回答等詳細は次のとおり。

委 員	小松市事務局
<p>2. 審議事項 審議対象案件の審議</p> <p>一般競争入札 ◎新ごみ処理施設建設に伴う造成工事</p> <p>○この工事の技術提案の点数や簡易な施工計画の点数が10点満点中、最高が5点で2点～5点とあまり高くない。点数が低いと言うのが印象で、どのように書いたら点数が取れるかというのがはっきり分かっていないのか。</p> <p>○技術評価点で逆転しているという実態を業者は分かっているのか。 もう1点は、(技術提案の) 協議をして最終的に評価しているという点で、協議をするメリットはどのようなところか。</p> <p>○上司の意見が通るとか、3人でやっても結局一番上の方の意見が通っている可能性がないのか。</p> <p>○逆に言えば一致しない場合があるから3人でやった方がいいということになるのか。</p> <p>○点数とか○×の記載だけを見れば、協議結果がすべてになり、多数決と同様の形になるかと思う。逆に協議の結果が単純に表で多数決をとっているようなやり方なので、公正に見えるけれども、協議の面白くない。</p> <p>○協議にはルールがあるのか。協議だと判断基準がふらつく場合があるかもしれない</p>	<p>●総合評価については、10点満点が最高点で、大概5点から6点が最高点で、2、3点くらいが普通となっている。施工計画の書き方はHPでお知らせしている。たまに参加する方には、このように書けば、ある程度評価されるという事例がホームページにあることはお知らせしている。</p> <p>●3者で工事の全体的なバランスを話し合っ て、中身を理解しながら行う方が評価がより確 実に出るのではないかと思う。担当者によって 評価が違うという懸念もあるので、このあたり は検討の余地はあるかと思う。</p> <p>●そのように強い方の意見が重視されることが ないよう技術監理課が立会いで確認している。</p> <p>●今回の評価の例では、3人とも同じ項目を「当 然実施すべき程度のこと」と評価しており、程 度のことは一致している。</p> <p>●同じ提案でも担当者と課長が同じ評価で、上 司が違う評価をすることはある。けれど、最終 的には担当者と課長の評価に取りまとめたとい うこともある。</p>

い。誰がいつやっても同じ結果が出るほうが信頼度が高い気がする。

○協議というよりも、ルールのもとで行う方が透明性があるのではないか。

○検討課題として、また機会をみて結果報告を。

○点数を付けるときはA社B社という形で名前は伏せて、その後どこの会社だったかというのは、最終的には評価が全て終わった後分かるのか。そこが分かると、傾向などでどこの会社か分かってくる可能性もあるのかと思う。

○評価点が満点からみて低いのかという話の中で、業者の評価点が増えることは、市にとっても良いことなので、これを認識させることで、内容のいい仕事をするという入札側の努力が、市にとってプラスになり、評価点数が増るのであれば、積極的に何らかの形で業者側に通知する必要もあるのではないかと思う。

○落札した業者の計画は担当者も分かりやすく、公開してもいいと思う。残りの業者は名前を伏せた形でこういう案があったというのがよいかと思う。

○評価点は、今回こういう状況の中で決まりましたというプロセスを透明化して、努力を促すということを、やればいいと思う。

○市にとっても都合が良く、業者にとっても技術水準等の色々な要件が増えるので、小松もそのような工夫を試みる必要はあると思う。それを検討してほしい。

●終わった後は落札者しか分からない。A社がどれでB社がどこだったというのは担当者には分からない。

●そのとおりだと思う。

●中身は公開できないけれど、ある程度の点数で推移しているのであればそのような情報を出せると思う。

●公表の工夫で啓蒙をはかるということですね。

一般競争入札

◎小松飛行場周辺無線（デジタル簡易無線）設置工事（その2）

○複数年での一括の入札をすると競争性は高まるのか。

●そうです。それから何年か小松市全域の工事を施工できるわけですから、競争性は高まると思う。

○意欲が高まるという意味か。

●そうです。

○ただ逆に、1社しか入札してこなくなったということは、ほとんど企業にとっては、儲けにならないような見積りになっているのではないか。

●基本となる発信機があつて、それを受信する子局を各家に配るが、違う業者があとでとると、その子局を改めてその数だけ作らなければいけないと割高になるとか、相性とかもあるかもしれません。

○今回対象となる子局が置かれる場所は、小松基地周辺とあつても地域全部か。

●そうです。全域無線になります。町内有線放送の古いもの、更新が必要なところから順番に優先的にやっている。

○屋外拡声子局との設置と各世帯への子局を置くということか。

●同報系の親局が小松市役所と消防本部にあり、拡声子局から町内ごとに中継局を置いて、そこから電波が届くような形で家庭にラジオみたいなものが配られる。

○一番最初に日立国際のJVが設置したとしても、その3その4は違うところがやることはできるのか。

●受信できる能力があればいいので、若干相性の違いはあるかも知れませんが、他のメーカーが作っても受信できます。

○見積りに無理があつて他の業者は入札しないのか、技術的に難しい工事なのか、どのような要因があるか分かるか。

●技術的に難しいことはないですが、親局との関連はあるかもしれません。

○一番最初に落札すれば、ほとんど同じところになるのか。1年ごとに入札するのは、補助事業の関係か。

●そうです。ただ、設計書はどこでも作れる仕様になっています。

○状況は分かりました。

●100%ということについては、予定価格が

<p>○今回の抽出案件のその2も複数年度で、工事の最中に公告が出てきて、同じJVが受注している。複数年でやっていて、終わってから次をするという形でないのは防衛省の予算の関係か。</p> <p>○総合評価結果は、JVの場合代表者の会社の評価なのか。</p> <p>○技術評価点はその2は4.7で、その2の2では3.52に下がっているのは、なぜか。</p> <p>○最初の入札では78.4%の落札率で、ここで落札すれば、一概にとれてしまう。最初は競って取りましたが、それからはこちらに合わせようということに見える。他の業者は、2回目以降に落札すると、どこかにリスクがあるのか。</p> <p>○例えば、他社の機器をもってきて実際にやってみるとかはできるのか。日立と一緒にですということを見せることができるか。</p> <p>○同じ市町村でこのような入札をしているところはあるのか。情報交換で、ヒントになるものはないのか。その1は3社入札しているが、その2から1社しか入札していない。</p> <p>○我々が努力しないと、また同じ結果になると思う。何かまた考えてください</p>	<p>厳しかったものと思う。</p> <p>●そうです。予算が前倒しで付いたものです。</p> <p>●代表者です。</p> <p>●配置予定技術者の実績で、経験数が足りなかった。同じ人ではない。</p> <p>●多分、同じ機器なら同じインターフェースでいいのだけど、それなりのプラスアルファのインターフェースをつけなければいけないのだと思う。機能的には大丈夫だけど、そのインターフェースの分で割高になるのかもしれない。</p> <p>●相性は問題ないかと思う。</p> <p>●親局など1回目で落札できなかった場合の2回目以降は業者なりの判断はあると思う。</p>
--	---

指名一般競争入札

◎中央排水区浸水対策 側溝改築工事（その2）

○この工事は辞退が多い。原因は何だと思
うか。

○細工町は前回は3社、今回は4社辞退し
ている。前に辞退された方も今回指名され
ている。

○辞退は理由書を書かせているのか。

○最低制限価格はどうやって計算されてい
るのか。

○近隣の小学校区は隣2校みたいなことで
決まるのか。

○境目が接していれば、周りは全て入れな
ければいけないのか。

○一定の基準があるということか。地理的
なこともあるのか。

○今回の第一小学校下は白川建設だけが入
っているのはなぜか。

●この工場の細工町は前回は辞退が多いが、推
測は難しい。

●たくさんの工事がある中で、3月の時期なの
で、仕事の持ち具合とか色々あるため、工事を
選んで参加していると思う。入札の内訳書にも
作成労力がある。参加しないことも仕方ない。
とくに、C、Dランクの業者は小さいので、い
くつも工事できないことがある。

●書いています。価格が合わないとの記載もあ
るが、多くは配置できる技術者がいないとい
うことである。

●最低制限価格の計算方法は公表している。
計算というよりも、設計書があつて直接工事費、
共通仮設費、現場管理費それぞれの価格があつ
て、それに対する一定の率をかけて算出する。

●いいえ、接している小学校下、さらに中学校
下も目安にしている。

●いいえ、指名の基準はある。

●そうです。業者自体が少ないので、遠い業者
でも参加させている。地域によってバラツキは
あるが、考え方は一定している。

●前回は指名停止の業者があるなど、指名数が
減ったため、第一小学校下の業者を加えた。今
回は以前の指名に戻したが、白川建設につい
ては落札した経緯もあり、競争性の観点から続け
て参加させた。

○指名業者数は金額で決まるのか。

●指名業者の基準がある。全工種共通なので、例えば130万円から500万円未満は4～7社、500万円以上1000万円未満は5～9社を目安としている。

○今回の工事を見ますと、300万だから4～7社か。

●地域から選んだときに対象が8社となる場合、4～7社に固執すると1社落とさなければいけない。理由がないので7社を超えても入れる。

○今回は白川建設を含めなくとも6社なので、良いともみえる。

●4～7社だから、7社にしようとしたということではなくて、確かに芦城中学校下の第一は、白川建設1社しか入れませんでしたけれど、前年の施工実績もあり、継続性や競争性を考慮した。

○入札価格が頑張ってもらえて、前の工事もやっており、実績を評価したということか。

●はい。成績も良好であった。

○他の業者から異義はなかったか。

●ありません。

指名競争入札

◎憩いの森イメージアップ費 休憩施設整備工事

○第1回目は建築で選んだ結果、1社しか残らなかったため、再入札で選定し直した結果、4社で争うこととなったので選定が良かったと思う。気になったのはなぜ1回目に1社しか残らなかったかということだったが、説明を聞いてわかった。1回目の1社の入札金額は出ないのか。

●不調になった時点で入札は中止し、開札しないのでわからない。

○登録業者で特に実績はなくても、その地域にあれば再指名の時に選ばれるのか。

●はい。四阿程度ということもあり、実績にこだわらず、登録業者で選んだ。

指名競争入札

◎市道粟津駅前大通り線道路修景工事に伴う給水管布設替工事

○1回目の全社辞退の背景には、夜間工事を敬遠したということがわかった。

指名競争入札

◎市道津波倉一針線舗装補修工事（3・4工区）に伴う給水管布設替工事

○辞退や落札率100%の入札結果から、業者がしたくない理由を知りたかった。冬場の年末なので忙しいということか。

○今回は発注時期が重要な要素と思った。利益が見込めず、天気が悪い冬場の掘削工事は誰でも嫌がると思う。

○入札時期を十分考えてやっていただきたい。

●粟津町駅前的大通りで交通量も多いので、設計で夜間工事の指定をした。条件は変えられないので、上位ランクの業者を指名して再入札した。

●もっと適切な発注時期であれば、ということもあるし、この時期に舗装工事と工程調整が必要ということもあって敬遠されたと思う。